



Question & Answer



Q どのような入試がありますか？

A 一般選抜や総合型選抜などを予定しています。一般入試では、高校で学ぶ基礎学力を重視した試験を行います。「英語」「国語」「地歴・公民または数学」の3教科型入試や、「英語」「数学」の2教科型入試を予定しています。文系・理系を問わず幅広く学生を募集します。

Q 数学が苦手なのですが、どのくらい数学の知識が必要ですか？

A 高校で学ぶ数学の全範囲が必要ということはありませんが、データサイエンスに関わる数学は学ぶ必要があります。ビジネスデータサイエンス学部(仮称・設置構想中)では、数学の入門科目を設置し、全ての学生が、データサイエンスを学ぶ上で必要な素養である数学の基礎的知識を理解できるようにしています。ビジネスを目的とした数学を学ぶため、数学に苦手意識がある方でも、必要性を理解して楽しく学ぶことができます。

Q 卒業後の進路イメージは？

A IT産業やメディア、製造業などあらゆる分野でデータサイエンティスト、マーケティングアナリスト、政策・戦略立案者として活躍することが期待されています。経済産業省の発表では、2030年の日本ではIT人材が約79万人不足するとされており、人材ニーズが非常に高い分野です。

▶ 情報技術を活用する全ての組織



ビジネスとデータサイエンス両方の視点から高度な技術を実課題に適用する**ビジネスデータサイエンティスト**



高度な情報処理技術を身に付け、複雑な実問題の解決を行う**技術志向人材**

▶ ベンチャー企業



ビジネスデータサイエンティストとして新たな価値を生み出す**起業家**

▶ 教育・研究機関



ビジネスと人工知能、計算機科学、統計学などの学際分野における**教育・研究者**



アクセス

- JR京都線「岸辺」駅で下車、徒歩約18分または阪急バスに乗り換え。
- 阪急電鉄千里線「南千里」駅で下車、阪急バスに乗り換え。
- 北大阪急行電鉄「桃山台」駅で下車、阪急バスに乗り換え。

(阪急バス利用の場合は「七尾西」下車、徒歩約3分)

「みらいキャンパス」は株式会社ベネッセコーポレーション(以下、「ベネッセ」という。)の登録商標です。関西大学はベネッセと商標使用許諾契約を締結してキャンパス名称として使用しております。なお、ベネッセが運営する「みらいキャンパス」事業と本学のキャンパス名称の関連はございません。

関西大学

学部案内 2025

ビジネスデータサイエンス学部

(仮称・設置構想中)

2025年4月 開設予定

FACULTY OF BUSINESS DATA SCIENCE

ビジネスデータサイエンス学科



関西大学

ビジネスデータサイエンス学部 (仮称・設置構想中)

URL <https://www.kansai-u.ac.jp/BDS/> 〒565-8585 大阪府吹田市山田南50-2
Tel. (06) 6368-1121 (大代表)

新たな価値を創造する データサイエンティストを育成。

ビジネスにおいて、データサイエンスとイノベーションを結びつけ、新しい価値を創造する人材の育成をめざし、実践志向のデータサイエンス教育を展開します。

本学部の特徴は、ビジネスとデータサイエンスの両者を体系的に学び、実際の企業などの「生きたデータ」を用いて実践的なスキルを身に付け、考動力（自ら考え、行動する力）を高める教育にあります。新時代において、混沌を突破し、リードできる人材を育成します。



ビジネスとデータサイエンスの両者を体系的に学ぶ

ビジネス からのアプローチ

学べる内容の一例

- ▶ マーケティング
- ▶ 経営戦略
- ▶ アントレプレナーシップ
- ▶ マネジメント など



アクティブ ラーニング

企業と連携して、
チームで
課題を解決

- ▶ PBL演習 など



データサイエンス からのアプローチ

学べる内容の一例

- ▶ AI・機械学習
- ▶ ビッグデータ
- ▶ 情報セキュリティ
- ▶ プログラミング など



人生を切り拓く

人間力

現場経験に裏打ちされた

ビジネス力

ビジネスデータ
サイエンティスト

能力の礎となる

データサイエンス力

Message メッセージ

学理と実際との調和をモットーに 変化する社会に立ち向かえる人間づくりを



前田 裕 YUTAKA MAEDA
関西大学 学長

政府が主導する「AI戦略」でも、数理・データサイエンス教育の導入の重要性が示されています。関西大学でも、人工知能やデータサイエンスの基礎を大学生の誰もが有する基本的なスキルと捉え、全学生を対象にしたリテラシー教育として、科目を設置しています。ビジネスデータサイエンス学部（仮称・設置構想中）は、これらの基礎教育に加え、実際のビジネスの場で必要とされる力も養い、目まぐるしく変化する社会に立ち向かえる人間を育成してまいります。

データから課題を読み解き 社会で即戦力となる人材育成を



鷲尾 隆 TAKASHI WASHIO
ビジネスデータサイエンス学部長（就任予定）

学部名に“ビジネス”という言葉がつくように、社会の課題に対してデータを活用し、解決できる力を身に付け、即戦力となる人材を育てたいと考えています。社会で活躍するにはデータを解析するだけでなく、他者と協働し、答えを導き出す力も欠かせません。これらを育むため、1年次からアクティブラーニングを中心としたカリキュラムを用意しています。実践的なカリキュラムを通して、社会をけん引するような人材が生まれることを期待しています。

学びの特色

▶ 文理の枠にとらわれない きめ細やかな教育

少人数の手厚い初年次教育（ゼミなど）で
ビジネスとデータサイエンス双方の基礎知識を習得

▶ 専門性を深める高度な教育環境

実務家を含めた国内屈指の経験豊かな
教員陣による実践志向の専門教育

▶ 実社会とつながったリアルな学び

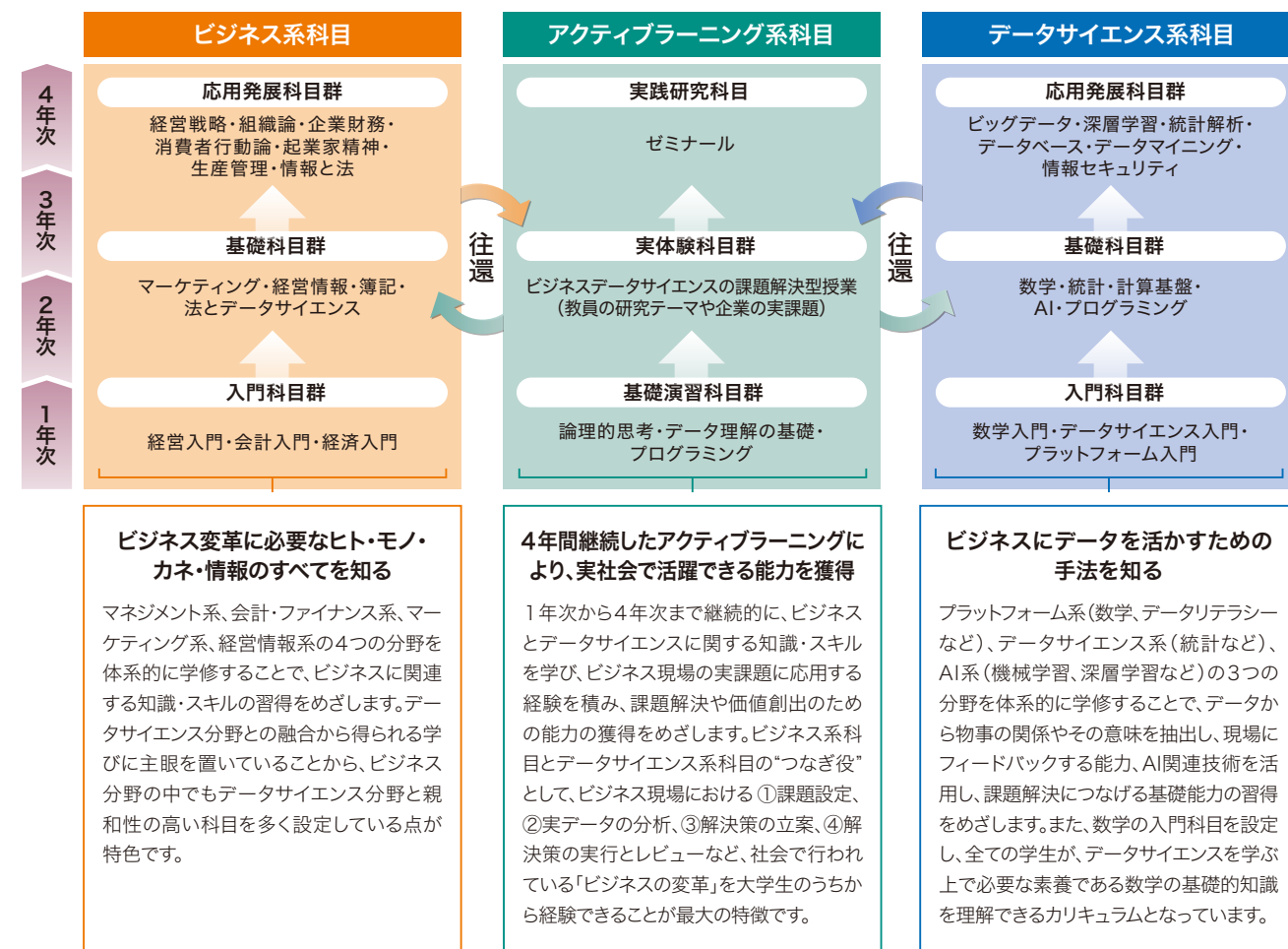
企業との連携による実データを活用した実践的な学修や
産学連携プログラムへの参画

▶ 主体的な学びを促すアクティブラーニング科目

ビジネスとデータサイエンスの融合による課題発見・解決能力を身に付ける実践的学修



カリキュラムの特徴



※設置計画は予定であり、内容に変更があり得ます。



ビジネスデータサイエンス学部を
（仮称・設置構想中）
さらに知るためのコンテンツ

学部紹介サイトはこちら



学部紹介動画はこちら

